

平成 21 年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

学校番号	27
------	----

自己評価

1 学校教育目標	誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上に、すぐれた知識と技術を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。 このことを実現するために本年度は以下の重点目標を設定した。 (1) 社会で通用する確かな力を身に付けさせる。 (2) ルールやマナーを自ら守り、社会的規範を大切にさせる。 (3) 自ら健康と安全を管理できる生徒を育てる。
2 評価する領域・分野	学習指導
3 今年度の具体的かつ明確な重点目標	生徒の学習習慣の確立を図り、平常の実践を通して授業改善と生徒への支援の充実を行う。
4 目標の達成に必要な具体的な取組	
(1) 授業開始時終了時の厳守、提出物の期限遵守 (2) 公開授業 week の設定と授業改善 (3) 成績評価の適正化と入力作業の円滑化 (4) 未修得科目のある生徒への援助	
5 取組状況・実践内容等	6 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業開始時 3 分前にチャイムを鳴らし、生徒の授業準備を促した。またシラバスを作成し、全生徒に配布して学習内容や評価規準を明確化した。 ・ 公開授業 week を年 2 回実施し、教科の枠を超えてお互いに授業を見て授業改善に役立てた。「本時の目標」を必ず板書し、1 時間の授業の目標を目に見える形で生徒に提示し、授業の充実の一助とした。 ・ 単位修得に向けて「分かりやすい授業」を実践した。未修得科目のある生徒の指導を、放課後など多くの時間を割いて行った。 	A B B
7 成果・課題	総合評価 A B C D
8 来年度に向けての改善方策案	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続いて授業に向かわせる姿勢を養うために、授業規律を中心に指導していく。 ・ 授業改善のための公開授業期間を実施して、普通科・専門科を問わずお互いの授業を見あい、自分の授業に役立てていく。研究授業との関連があいまいになったので、「研究」としての教科・学科の研究授業を充実させる。 ・ 過年度未修得科目をいかに修得させるかについては、修得させる機会を翌年度に与えないで、各学期の指導を充実させることで該当年度で修得させる、という方針を含めて検討したい。 	

学校関係者評価

実施年月日：平成 22 年 1 月 29 日

【意見・要望・評価等】

・
・